

2024年度 健康投資推進協議会

第3回 HSDワーキンググループ議事録

開催日：令和6年8月9日
開催時間：10時00分～11時00分
開催場所：WEB会議
作成：株式会社ヤマヲ 菅原

I. 開会：事務局

II. 出席者の確認：事務局

欠席届：みずほ末吉様、トヨタ和田様、村松先生

III. 座長挨拶：古井祐司先生

健康投資健康経営の事業に携わり5年目となりました。大学の公衆衛生の授業では、「健康経営に価値があるのはわかるがどうしたいのか？」と質問されます。今の学生は、小学生から社会とのつながりやSDGsを学んでおり、どんな会社どんな地域社会にしていくかに興味を持っています。今週オープンキャンパスがあり「データヘルス・健康投資」について話したところ、高校生だけでなく、中学生からも反響。多様性の中で生きていく、いろんな人や機関と協力し合うことが重要とあらためて認識した次第です。本日もよろしくお願いいたします。

IV. 協議事項

1. Well-being×地域モデル事業の進捗共有

【九州地区】

開催日時 2024年7月24日（水） 15:00～16:00
開催場所 八代ハーモニーホール（桜十字ホールやつしろ） 〒866-0854 熊本県八代市新町5-20

建設技術者講習会の1部に利用して展開

タイムテーブル	所要時間	内容	ご担当
7:30		受付開始	
8:00	0:05	開会挨拶	
8:05	3:00	労働安全コンサルタントによる講義	
11:05	0:55	講義	
12:00		昼食	
13:00	2:00	建設現場における熱中症対策と女性健康について	
15:00	0:30	現場管理に伴う健康管理および幸福を感じる職場環境整備について 健康投資推進協議会 Well-beingフォーラム 九州地区 「社会的健康とは～健康経営の心と体と社会の考えについて～」	森本 真弘 様/MS&ADインテリクス税研株式会社リスクコンサルティング本部
15:30		健康投資推進協議会 Well-beingフォーラム 九州地区	
	0:15	講義「企業における見える化された健康投資事業の実践と効果」	豊田将之 代表理事/健康投資推進協議会
	0:10	HSDロジックツリーの取組	
	0:05	アンケート	

九州地区 結果報告

中小企業における「持続可能な開発のための健康管理（HSD）」の必要性について、どう思いましたか？

1 とても必要	17	12%
2 必要	86	59%
3 どちらとも	36	25%
4 あまり必要ない	3	2%
5 必要ない	2	1%
未回答	2	1%

HSDへの必要性
71%

今回のHSDロジックツリーを自社においても活用したいと思いますか？

1 とてもそう思う	10	7%
2 そう思う	73	50%
3 あまり思わない	42	29%
4 思わない	7	5%
5 支援あれば活用したい	12	8%
未回答	2	1%

HSDロジックツリー
自社活用への関心
65%

今後、健康投資推進協議会が提供する「地域の中小企業のための健康投資を学ぶ機会」に興味がありますか？

1 興味あり	68	47%
--------	----	-----

健康投資推進協議会への興味
47%



★7/24 名鉄で人身事故があり、豊田代表がニュース映像に写り込み！

【北陸甲信越地区】

2024 8/7 (水)

2024年度 健康投資推進協議会

Well-beingフォーラム

北陸甲信越地区

日 時：2024年8月7日 (水) 14:00～15:45

場 所：新潟市生涯学習センター (新潟県新潟市中央区4-8-47)

対 象：中小企業経営者、企業、自治体の健康投資担当者、雇い主・雇い入れ者、健康経営アドバイザー など

定 員：300名 (定員になり次第、受付を終了します)

参加申込：要申込申し込み (参加費無料、先着順) 申し込みフォームまたはお申し込みください

<https://forms.gle/WL24u4Tnp17>

主 催：健康投資推進協議会 共 催：新潟市、新潟県工業振興会

後 援：北陸健康投資推進協議会 協 賛：株式会社エイトジャパン

Healthcare for Sustainable Development (HSD) という考え方。

企業として従業員のヘルスケアにこれからのように取り組むのか、今こそ向き合ってみませんか？

13:30	開会式
14:00	開会 主催者挨拶 二階堂 貴博 (新潟市市長)
	第1部 基調講演
	「社会の健康と企業は健康経営の心と土と社会の未来について」
	森本 真弘 氏 (MS&D インターナショナル株式会社 リスクコンサルティング本部)
14:30	第2部 基調講演
	「企業に求められるべき健康経営の推進と効果」
	村松 賢治 氏 (健康経営推進協議会 代表)
	東京大学 東洋文化センター 研究センター 専任研究員
	アサヒ生命 保険株式会社 シニアビジネスディベロップメント エキスパート
14:50	第3部 パネルディスカッション
	<ファシリテーター>
	関谷 幸一 (健康経営推進協議会 代表、株式会社ヤマダ 代表取締役社長)
	テーマ① 各立場からの健康経営
	テーマ② 推進する際の工夫とその効果
	<パネリスト> 関谷 幸一 氏 (株式会社ヤマダ 代表取締役)
	森本 真弘 氏 (MS&D インターナショナル株式会社 リスクコンサルティング本部)
	佐藤 文雄 氏 (新潟県立病院 代表取締役)
	関谷 幸一 氏 (健康経営推進協議会 代表)
15:40	アンケート 終了



<岡部社長>

北陸甲信越地区においては新発田ガスの佐藤様・宮澤様に多大なご尽力をいただきありがとうございました。新発田副市長、多くの関係者の方のご協力のもと、盛況のうちに開催できました。新発田ガスさんの取り組み紹介、パネルディスカッションを通して、こうなりたいというゴールが大事、会社の在り方・形を内部で変えていかないと、中小企業としては人を採用できない、というお話がありました。アンケートにも多数お答えいただきました。健康長寿のまち新発田市をうちだして今後の健康投資を進めていきたい。

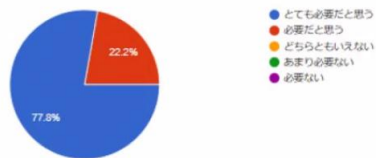
<宮澤様>

今後ともよろしくお願いいたします。この度 Well-being フォーラムでしたが、市のお話が長く、短い発表になりました。まだ2日くらいしか経っていませんが、ロジックツリーに興味を持ってくださった方から複数ご意見をいただき嬉しい限りです。健康経営の立場から浸透させていくことによって相乗効果がある。新発田の中小企業の方が来られていたので、継続していかなければと実感しました。

北陸甲信越地区 結果報告

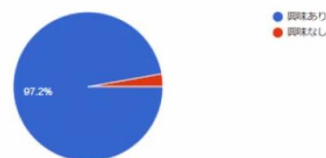
中小企業における「持続可能な開発のための健康管理（HSD）」の必要性について、どう思いましたか？

36 件の回答



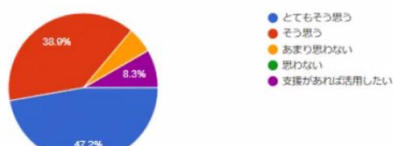
今後、健康投資推進協議会が開催する「地域の中小企業のための健康投資を学ぶ機会」に興味がありますか？

36 件の回答



今回のHSDロジックツリーを自社においても活用したいと思いませんか？

36 件の回答



<岡部社長>

HSD の必要性を感じている方が多いと数字に表れた。ここから少しずつ広めていく形をとります。各地にロールモデル企業があって、その取り組みを市が認可していきながら、こういう会社がたくさんあることで、高齢化している地方において人を誘致できることが理想。こういったことを改めて感じましたので、岐阜・関東にもつなげていきたいと思います。

<辻尾様>

JC の立場から、昨年様々な地域に行かせていただき、皆様関心があることはわかったのですが、自分の地域、堺市でもこういったフォーラムが展開できたら素晴らしいと思います。

た。昨年ベースと今、ロジックツリーを作られていることを考えると、いいテストケースになると思う。堺市は商売人の街として知られ、中小企業の経営者多いので、よりデータが集まり街から発展できると感じています。

(辻尾さんは来年度、堺高石青年会議所の理事長をやられることになるのでうまく使っていただけると助かります。)

<鷺尾様>

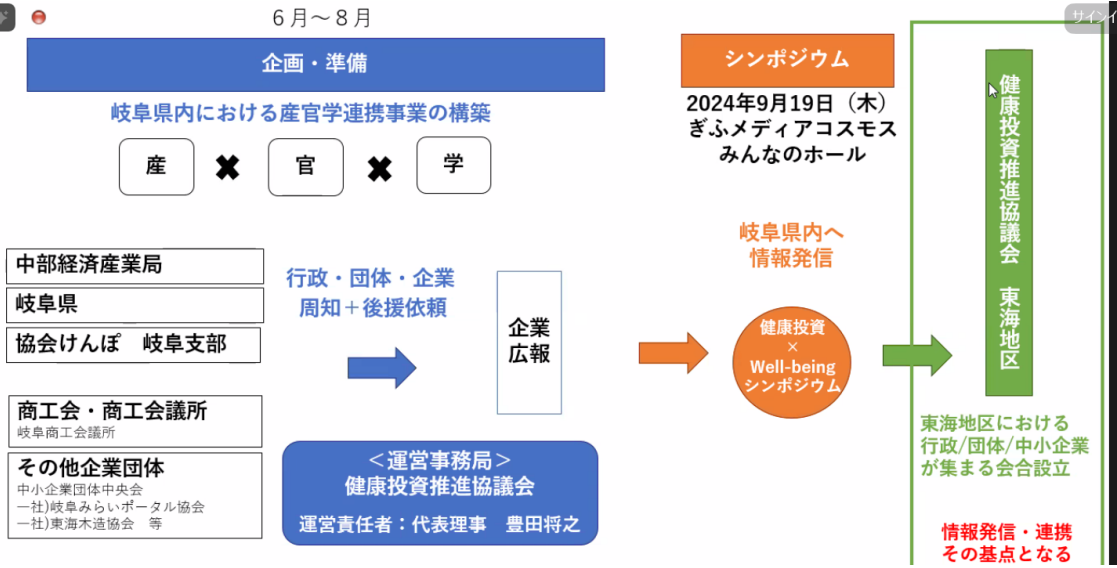
各地域でこういうのは良いですね。徐々に進めて広めていくことが大切なのだと思います。昨日、新潟県の県議会事務局からお電話があり、取り組みを聞きにいらっしゃるとのこと。一昨日の新発田市のフォーラムのチラシやアンケート結果を共有いただけると話題ができるかと思います。(了解しました。事務局より共有いたします。宮澤様にもご意見よろしく願いいたします。)

<宮澤様>

お話にびっくりしました。Well-being フォーラムをやったばかりのホットなつながりです。協力できることがあれば幸いです。

(Well-being フォーラムはこの後も続いていきます。9月6日に関東地区、9月19日に岐阜地区モデル。岐阜の方はオンラインにもつないでいきます。古井先生も出ていただける会になります。)

【岐阜地域モデル (案)】



(中部経済産業局さんは講演いただけないが、岐阜県、協会けんぽ、商工会議所、各傘下に中小企業を多く持つ団体に講演していただきシンポジウムの準備をしていきます。広報も1

か月前にはやっていきたいと思います。

最初、右側はサロンのように中小企業が集まる場所を作ろうとしていましたが、波及効果がまだまだ。地盤を揃えてからの方が良いと思い、東海地区から発信できる場所とか連携できる拠点を作って、ポイントをまとめ、皆様に意見をいただきながら、軸を作ることを方向性にしたい。こうした流れで進んでいきたいと思います。)

2. ロジックツリーモデル評価事業

WGによるロジックツリーのさらなる活用について

HSDロジックツリーを用いた年間評価 および 次年度計画 ～今後の普及を見据えて～

- ①経営者の想いを社員へ明確に発信すること、②会社風土に沿った計画・実施が必要であること、
- ③従業員における肉体的健康・精神的健康・社会的健康を以て、企業視座を高めること

【令和5年度のまでの動き】

HSDロジックツリー開発 → 中小企業内での活用（計画から実用、短期評価まで）

【動きに対する課題】

- ・中小企業における中長期的な発展に寄与するための評価の要点を明確にすること
- ・HSDロジックツリーを広く進めていくための要点を明確化すること

～どのようにすることで3要素を踏まえた普及ができるのか～

<事業>
中小企業への
評価および推進

HSDロジックツリー
評価・運用・周知

健康投資推進 study group

【これまでのStudy group要点】 企業内における健康経営の運用について

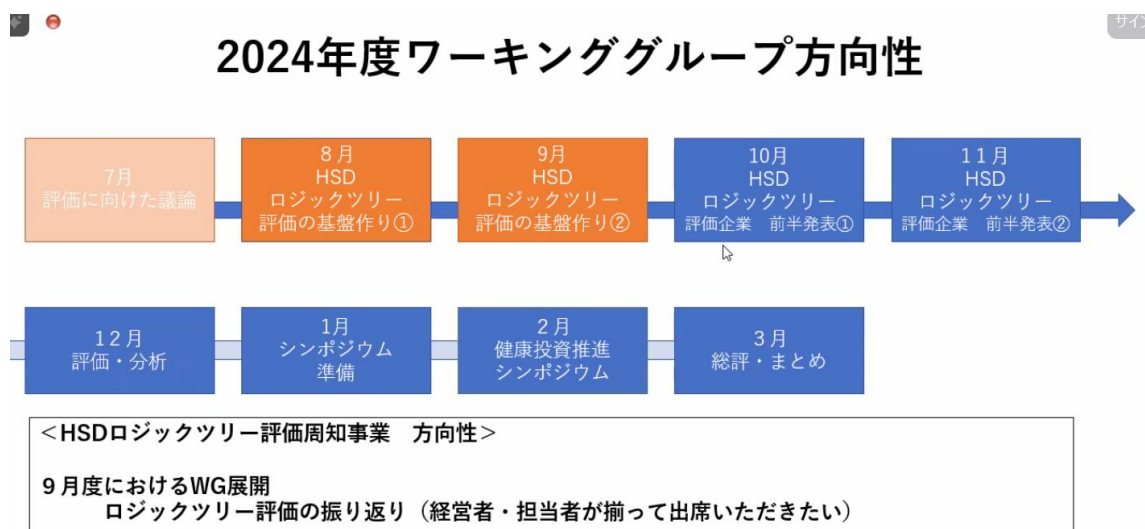
- ・評価の起点は健康診断、健康経営優良法人申請
- ・定点評価を行わないと実施内容が薄れる/忘れてしまうため、行うことを強く推奨する。
- ・企業内で初めて推進していく要は「把握」である。



ロジックツリー評価をじっくりと行い、知見を集めて評価を行い、発信する体制を取ること

（ロジックツリーの評価を行っていくにあたり、スタディーグループやコア会議で協議して、皆様の意見を聞いてまた協議という流れを作れています。運用について、健康診断、優良法人認定の申請の中でも、評価をしていかないといけませんので焦らずじっくりやっていき、知見をあつめて冷静に評価して、結果を発信する体制を考えています。

9月、方向性、都度ご意見をいただきブラッシュアップできることをやっていきたい。8月は基盤づくり。今年合流された、高木さんと辻尾さんには説明をさせていただきます。)



9月には以下の3点について各社より発表いただきたいと思います。

- ①経営者としての振り返り
- ②担当者としての振り返り
- ③その双方の話し合い・連携について

<高木康弘様>

数値的な例では、禁煙に関することを続けています。ここ10年で10ポイントくらい喫煙者が減った。分析してみると、喫煙者は50代以上が多くそういう人は定年を迎え、若い人は吸わないので自然減があることも見えてきた。対策としては、禁煙ガムを希望者に配布、22日には禁煙デー（スワンデー）を設定してパソコンで流して啓蒙をしています。効果が見えなくなったり、経営者からうちの会社はどうかと質問を受けたりする際に振り返り、新しいことにチャレンジする機会となる。評価をするだけでも大変な業務量。スタッフはメインとサブ四人で18000人のデータを扱っている。

健康経営優良法人関係含め、コンサル会社のやっている無料セミナーなども活用している。去年の健康経営調査のフィードバックシートを第三者に評価していただいた。お時間あれば皆様も活用したらいかがでしょうか。

（比較でみる評価の視点というのはカギになるかもしれません。）

WG 内で以下の 2 点について、スケジュール感を共有・把握する必要があります。

- (WG 参加企業のブラッシュアップだけでなく、それを広めていくことが目的。2月のシンポジウムに向かって、念頭に置いていきましょう。)

弊社の場合、基本的には健康診断を基準に表を作って落とし込みしている。結果がまとまる時期は企業によって違うので、全員でそのタイミングを合わせていくのが難しい。そこをどうするか。メンタルヘルスなど他にもロジックツリーに落とし込むのでしょうか、一概には言えませんが、先日のスタディーグループで話をしたところです。

(この WG で進めているロジックツリーと、既存の評価をどう統合するか悩むのではないのでしょうか。そこからまだ課題を抽出していきたいと思います。仕組みがある企業、これから取り組む企業さまざまあるので、一歩進んだ立場からやってみたらどうだったか、こういうポイントに気をつけたらどうかとか。細かい予測や実施結果をスタディグループで話していただけたらと思います。)

①
会社名:

業種:

社員数: 正社員

名、パート

取組状況 (健康経営優良法人・健康宣言・なし)

どういう会社
に
したいか

健康投資
に対する成果

WHO
憲章

健康投資項目に
対する課題

健康による組織・従業員に
期待する効果 (定量的評
価)

健康投資効果

健康投資項目

②

→

肉体的
健康

→

精神的
健康

→

社会的
健康



ロジックツリー 追加作業に関する説明

①の点について

会社名等の入力できる枠を作業いただいたワークシートへ移していただき、ご入力下さい。

②の点について

作業いただいたワークシートの「健康投資に対する成果」の枠内について、自社が目指したい

成果の姿を「肉体的・精神的・社会的」のそれぞれと対となるよう（赤矢印のよう）に記載下さい。

（当初のアブセンティーズム・プレゼンティーズム・ワークエンゲイジメントを消して記載下さい）

（新規の 2 社様にはこの説明で伝わるか、わかりづらいところもあったらコメントいただきたいのですが。）

<高木祐樹様>

埋めていきながら整理をして、発信していきたいと思います。今までうちでも取り組みとしてやっていることはありますが、断片的にやっている印象だったので、この様式で整えることでやっていることが線につながると思う。

<濱本様>

みなさまが健康投資についてお話しされているところへ弊社の社長がこういったことに興味をもち、自分も担当者としてここに参加させていただけたことに感謝しています。まだ社長の指示の元、取り組みを社員に通達しているだけの立場でしたが、もっと興味を持って社員全員が健康に意識改革していけるよう尽力できたらと思います。

<辻尾様>

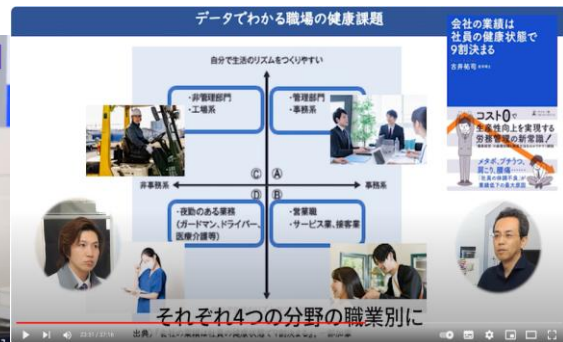
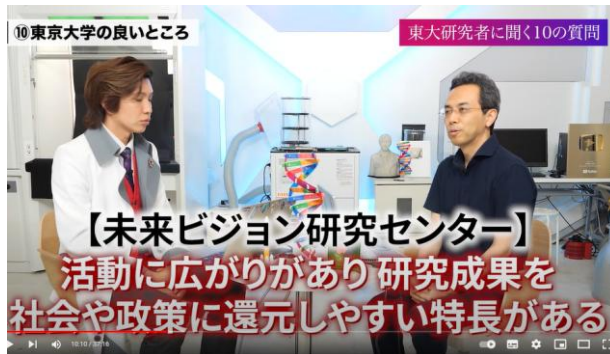
昨年初期段階のシートから見ており、どんどん使いやすくなっていると思いました。自分もやりたいと思いながら時間がなかったのですが、今年は自分の会社の取り組みに実際に置き換えてみて、わかりにくいところがあればフィードバックをしたい。他のどの企業がやってもいい方向に持っていけるのがこのロジックツリー。津川も一緒にやりたいという思いから参加しているのでいろいろな気づきがあると思います。

<津川様>

初めて参加させていただき、意義は理解できるが、実践することの難しさを感じています。形だけ作っても社員に浸透していかないと効果が表れないので、形だけで終わらないようにするのが大切です。

古井先生のご出演情報

[「YouTuber は長生きできる？」東大研究者に聞く 10 の質問 & 先生の研究を教えて！](#)



YouTuber の元氣先生がインタビュアーとなって、データヘルス研究が専門の古井祐司 特任教授の素顔にせまりつつ、最先端の研究内容についても深堀りします！

- ・古井先生が研究者になったきっかけ、研究者に向いている人とは？
- ・東大未来ビジョン研究センターの特徴、社会の多様化・国や地域との連携、研究の成果を「社会に実装」していること
- ・病気の予防についての研究の具体例（遺伝が三割、仕事別になりやすい病気の特徴とその改善例）
沖縄県民と長野県民はどちらが長生き？
- ・御著書「**早死にする仕事、長生きする仕事**」の紹介
- ・国民皆保険制度が予防サービスにも広がっていること、健康経営度を測るデータヘルス
- ・研究を通してどのような未来にしたいか？！中高生への熱いメッセージ

…など**内容が盛りだくさんの楽しい YouTube です。皆様ぜひご覧ください。**

[「YouTuber は長生きできる？」東大研究者に聞く 10 の質問 & 先生の研究を教えて！](#)

<古井先生>

先ほど報告があった新潟、熊本とかを見ても、セミナーに参加した方はHSDの目指す世界観は共鳴してくれた。一方でHSDを必要と思いながらも、高木さんがおっしゃったように、実際に中小企業でやられていることと、HSD ロジックツリーをつなげるのは別の作業になっている。将来的には融合して当たり前のように回るとよい。中小企業がHSDで目指す世界観を、ロジックツリーを使って外向け社内向けに表現し、それをどう回していくかに重きを置いていただきたい。経産省が主に大企業向きに進めているが、毎年いろんな団体がロビイングしてきて項目が増えてき、健康経営をやること自体が目的になってしまっていると思う。WGではむしろ現場の皆さんがボトムアップで作り上げていただきたい。大企業でも最初は99%を健診結果で評価していた。それだと健康管理となってしまうがその後、精神的健康とか社会的健康が注目されてきた。社員のモチベーション・視座、自分が変わると会社が変わりその先のお客様、地域社会が変わっていくことなどに気づいていくと良い。健診率、喫煙率を改善することはもちろん重要だが数字そのものが本質ではありません。どう皆さんが賛同し、ロジックツリーパッケージでどう実現するか常に意識を置いていかないと、「中小企業版は大企業版をちょっと工夫して作った」だけで終わり、つまらなくなってしまう。HSDの社会観を皆で可視化して実現して、いろんな企業と比較することで、特徴のある歴史から違うロジックツリーができます。岡部さんのいうようにHSD ロジックツリーパッケージを2月にお示しすることを明確な目標とすると良いと思います。

V.報告依頼事項

<ワーキンググループ>

第4回ワーキンググループ 2024年9月13日(金) 10時00分～11時00分

第5回ワーキンググループ 2024年10月11日(金) 10時00分～11時00分

第6回ワーキンググループ 2024年11月8日(金) 10時00分～11時00分

<コア会議>

第5回コア会議 2024年10月4日(金) 10時00分～11時00分

<well being フォーラム>

九州地区 2024年7月24日(水) 15時00分～16時00分

北陸甲信越地区 2024年8月7日(水) 14時00分～

関東地区 2024年9月6日(金) 14時00分～

東京大学での well being フォーラム WGの皆様の参加をお待ちしております。

東海地区(ハイブリッド) 2024年9月19日(木) 14時00分～16時00分
～16時00分

以上